

榊田 和美 議員



(一問一答方式)

- ① 災害に強いまちづくり
- ② 子育て環境の充実
- ③ 安心・安全のまちづくり

災害に強いまちづくりについて

問

災害が起きたとき地域コミュニティが活躍できるように、準備と災害時の行動計画である地区防災計画がある。33地区ある自主防災組織において、計画の策定はどのくらいの地域で進められているのか、策定状況と今後の取り組みについてお聞きする。

答

地区防災計画の策定状況については、平成27年度に三善地

区が策定し、今年度に入り肱北地区が策定されています。また、今年度中に策定予定となっているのが今坊地区と白滝地区の2地区であり、平成29年度、30年度に策定予定としている地区が7地区です。今後、全ての地区での計画策定を目指しているところです。

問

地区によっては、どこから手をつけていいのかわからないというところがあると思う。市から支援をしていただきながら計画策定を進めていただきたいと考えるがどうか。

答

様々な地域の状況があるので、現在取り組み中、それから準備中の地区を中心に消防と連携して積極的にアドバイスをしていきたいと思っています。また、取り組みが進んでいない地区についても、この計画を策定していただけるように努めていきたいと考えています。

子育て環境の充実について

問

家庭や地域のあり方が変化することで、様々なニーズに対して総合的な相談支援ができる子育て世代包括支援センターで、より切れ目なく支援が可能になると考える。母子が健やかに過ごせる

トータルケアとして重要な施策であると考えているが、市の見解を伺いたい。

答

子育て世代包括支援センターの設置については、今後国、県の動向を注視しながら検討していきたいと考えています。

現在、本市では、母子健康手帳の交付の際、母子保健事業について説明を行うとともに、保健師の訪問等で、子育ての不安解消に努めているところです。

また、親子の成長記録を活用し、妊娠中は母親学級にて仲間づくりを行い、乳幼児全戸訪問事業などを通して、関係機関との連携を図りながら支援を行っているところです。

さらに、心身の発育、発達に不安がある親子の方に対して、発達相談など発達支援事業も行っております。

安心・安全のまちづくりについて

問

公共施設などへのAEDの設置は、命を守る取り組みとして早期に進んでいるが、特に夜間にはいつでも対応できる24時間営業のコンビニエンスストアに設置されれば、さらに住民の方々の安心につながるのではないか。

コンビニエンスストアがAEDを設置することに対して市が協力することや市で設置をさせていたかどうかということはできないのか。

答

市内コンビニエンスストアへのAEDの設置状況については、ほとんど設置されていないのが実情です。

市が設置することについては、既に設置をされている民間施設とのバランスもありますので、他の自治体の例なども調査しながら検討していきたいと考えております。

市役所正面玄関横に設置されているAED

